



南部町立南部中学校 学校だより 第12号

千一ム南部中

令和元年 9月25日(水)
校長 望月和彦

全校生徒が躍動した第9回輝城祭！

9月14日(土)・15日(日)，南部町参与望月一弥様をはじめ多数のご来賓をお招きし，保護者やご家族，地域の皆様の参観を得て，第9回輝城祭を開催いたしました。

1日目のオープニングでは3年生がソーラン節を披露しました。力強い踊りと気迫に満ちた表情，全員の大きなかけ声から，最後の輝城祭を成功させようとする気持ちが伝わってきました。続く1学年発表は内船歌舞伎「吉例蘇我対面の場」です。今回で5年目の発表になりますが，内船歌舞伎保存会の皆様の熱心なご指導により，今年も素晴らしい発表となりました。毎年同じ演目の発表でも，役者が異なれば醸し出される雰囲気も違ってきます。地域に残る伝統や文化を，中学生が学び，体験し，味わえる大切な機会になっています。1年生は4部合唱の「新しい世界へ」も発表しました。美術文芸部は「南部町の四季」を大型切り絵で表現するライブパフォーマンスにチャレンジしました。普段部活動の様子を見てもらう機会の少ない美術文芸部にとって，観客が見つめるステージで，力を合わせて作品制作に取り組む様子を見てもらえたことは，とても良かったです。2学年発表は演劇「月光の夏」。特攻隊員の実話を元にして作られた戦争と平和を考えさせる作品にチャレンジしました。戦争に参加した人，戦時下に暮らした人たちの思いを，2年生なりに考え，想像し，精一杯演技できたと思います。全員で歌った合唱「リフレイン」も素敵でした。保護者の中には涙を流しながら見ている方もいました。その他1日目には，クラス全員の思いが込められた学級旗，ペットボトルのキャップと手形でテーマ「つなぐ」をイメージしてつくられた全校制作が発表され，輝城祭ポスター優秀作品の表彰などが行われました。

教室棟の1階には，学年ごとのテーマ展示，美術文芸部の作品，美術・家庭・国語・英語などの教科作品，県内めぐりや修学旅行の旅行記などを展示しました。学年のテーマ展示では，1年生は南部町や福祉について，2年生は山梨の過去・現在・未来について，3年生は修学旅行に絡めて戦争と平和についての展示を行いました。各学年の展示担当や装飾・展示部門の生徒たちが，趣向を凝らした展示物をきれいに飾りつけていました。一つ一つの作品をゆっくり眺めたり，展示物をじっくり読みだりしている方も見られましたが，すべての生徒や参



観者が隅から隅までじっくり見ていただけたかどうか気がなるところです。

2日目のトップバッターは吹奏楽部でした。8月のコンクールで金賞を受賞した「ファンタスマゴリア」から始まり、ディズニーメドレーなど



全8曲を演奏しました。11人の3年生にとっては中学校生活最後の全員での演奏だったので、3年間の様々な思いが込められた演奏に聞こえました。そして、3年生学年発表は演劇「ふるさと」。



一人の転校生によって、ばらばらだった学級に変化が起き、クラスの一人ひとりが自分の正直な気持ちと向き合い、仲間や学校を掛け替えのないものだと思うようになるというストーリーでした。正義感や勇気とそれに反する気持ちに揺れ動く子どもたちの心をとても上手に演じていました。「さすが3年生だ」と感じさせる見事な発表でした。最後に3年生全員で歌った「ふるさと」も心にしみ入る歌声でした。文化の部最後は全校合唱「ひとつの朝」。

大変難しい合唱曲でしたが、音楽委員が中心となり全校生徒と教職員全員が心を合わせて取り組んできた成果を、大勢の参観者に聞いてもらうことができました。

2日目の午後は校庭で体育の部です。全校応援と学年ごとの集団行動を披露してから、綱引き、大縄跳び、背中渡り、棒取り、縦割りリレー、ムカデ競走の6種目をクラス対抗で行いました。クラスごとに優勝を目指して心と力を合わせ躍動する姿から、本校生徒たちの持っているパワーを感じてもらえたのではないのでしょうか。そんな中でも、運動が苦手な仲間のために学級独自の作戦を考えて競技できたり、最後尾のチームのゴールを全校生徒が応援したり、そんなことが自然にできる本校生徒たちをとても誇らしく思いました。



体育の部のあとは、校庭でフォークダンスとジンギスカンを教員や卒業生も混ざって楽しみました。最後は体育館での閉祭式です。2日間を映像で振り返りながら、各学年代表や各部門長が感想を述べ、望月満胤生徒会長の閉祭宣言で第9回輝城祭は幕を閉じました。閉祭式で手をつないで円を作った生徒一人ひとりの満ち足りた表情が印象的でした。

まさに大成功の2日間でしたが、生徒たちには「結果良ければすべてよし」にはしてほしくありません。この2日間のために、どのような取り組みをしてきたのかを振り返り、その過程をきちんと評価してほしいということです。また、その中でうまれた成果や課題を、今後の生活にどのようにいかしていくのかを考え、つなげていってほしいです。そこに今回の輝城祭のテーマ「つなぐ」の大切な意味があると思うからです。これからの本校生徒たちの益々の成長に期待しています。

